研究課題番号	1-1902
研究課題名	地域循環共生圏による持続可能な発展の分析手法の開発
研究実施期間	令和元年度～令和3年度
研究機関名	国立環境研究所
研究代表者名	五味 馨

1. 委員の指摘及び提言概要

地域循環共生圏の理念の具体化・一般化、定量的な推計方法開発という当初の目標は、期待どおりに達成されている。網羅的かつ緻密な指標によるモデル化を実現し、多様な利害関係者が地域循環共生圏という概念を共通のプラットフォームに基づいて理解し、活用状況を評価し、改善につなげていくという流れに、重要な貢献ができる研究成果が上がっている。また、環境省で進めている事業などへ活用されており、今後も持続的活用を展開してもらいたい。一方、本ツールは自然共生や自然環境に関する情報の導入が不十分である。A-PLAT や地域気候変動適応センターとの成果をもとにした連携と自然科学系のデータベースとの接続の推進が、実効性をあげ、波及効果を出すために有効と考えられる。

2. 採点結果

評価ランク：A